

山形県立博物館 特別展

藩校

はんこう

武士の学校・江戸の学問

会期 平成十年七月十八日(土)～九月六日(日)

〔記念講演会〕近世の藩校と藩校研究

講師 放送大学客員教授 石川松太郎氏

八月二十二日(土) 午後一時三十分～三時 本館講堂

〔学芸員ギャラリートーク〕 八月二日(日) 午後二時 本館特別展展示室



〔開館時間〕

午前九時～
午後四時三十分
(入館は四時まで)

〔入館料〕

個人
大人 三〇〇円
小人 一五〇円
学生 一五〇円

団体

大人一人 一五〇円
小人一人 七〇円
学生一人 七〇円
(団体は二〇名以上)
第二・四土曜日は、
小中高生入館無料

〔休館日〕

月曜日・祝日

山形県立博物館

〒980-8501 山形市霞城町一八
☎013-645・2111

藩校

はんこう

武士の学校・江戸の学問

会期 平成十年七月十八日(土) ～ 九月六日(日)

藩 校は、江戸時代、各藩が主に藩士やその子弟の教育のために設立した教育機関です。その数は18世紀後半より急増しました。この時期以降の藩校は、儒学に基づき明確な理念、本格的組織、それに一定のカリキュラムを持つていくことが特徴です。

また、幕府においても寛政期に学制の改革が行われ、従来林家塾は幕府直轄の昌平坂学問所となり、各藩校にも影響を与えました。なかでも萩生徂徠の学問を中心とした庄内藩・致道館、上杉鷹山が細井平洲の教えを受けながら再興した米沢藩・興譲館は全国的にも注目されています。

今回の展示では、やまがたの藩校を一堂に紹介するとともに幕府の「学校」ともいべき昌平坂学問所、また他の代表的な藩校を紹介しながら、藩校のはたした意味を考えようとするものです。

岩上山善日門院



興譲館字則
米沢興譲館高校蔵



弘道館正庁の間



軟美茶器 致道博物館蔵

〔展示の柱〕

- 日本の藩校
- 幕府の学問所・昌平坂学問所
- 庄内藩藩校・致道館
- 米沢藩藩校・興譲館
- 諸藩の藩校
 - 上山藩・明新館
 - 新庄藩・明倫堂
 - 松山藩・里仁館
 - 山形藩・経讀館
 - 天童藩・養正館
- 代表的な藩校・奥羽諸藩の藩校
 - 会澤藩・白新館
 - 仙台藩・養賢堂
 - 水戸藩・弘道館



山形県立博物館
〒990-0826 山形市霞城町1-8
TEL 023-645-1111

● 主な展示協力機関

米沢市立上杉博物館、米沢市立図書館、米沢興譲館高校、史跡旧致道館、致道博物館、鶴岡市郷土資料館、新庄ふるさと歴史センター、天童市立旧東村山郡役所資料館、松山町資料館、上山市立上山城、上山市立図書館、山形大学附属博物館、山形県郷土館、山形県立図書館、東大史料編纂所、玉川大学教育博物館、斯文会、早稲田大学図書館、弘道館、茨城県立歴史館、幕末と明治の博物館、仙台市博物館、斎藤報恩会、宮城県図書館、宮城県美術館、福島県立博物館、福島大学附属図書館